
ケイヨウギンコウ&ケイヨウインコ
みんな大好き！ちばではたらく車たち
日本ロードメンテナンス㈱
車業作待維路道
第5回
路面清掃車



街をきれいにする

路面清掃車（ロードスイーパー）

路面清掃車（ロードスイーパー）は道路をきれいに清掃する車両です。道路上には土砂や紙くず、あるいは危険な釘、木片、空き缶やビンなどさまざまなゴミが落ちています。こうしたゴミはそのまま放置しておくと景観を損なうだけではなく、走行中の車が踏むと大きな事故につながる恐れがあります。そのため、路面清掃車は道路をきれいな状態に保ち、道路の安全を確保するため日々活躍しています。

清掃作業は基本的に、トラック、ダンプトラック、散水車、路面清掃車（ロードスイーパー）の4台がチームとなって行います。その道路清掃の中心となる仕事を行うのが、表紙に掲載している三輪ブラシ式の路面清掃車です。サイドブラシで車道の端の土砂やゴミを車体の下に掻き出し、メインブラシで集めながら清掃します。集められたゴミは車体の前部にあるホッパー（ゴミタンク）にためていき、いっぱいになるとダンプトラックに移し替えながら清掃作業を行っていきます。

路面清掃運転手のおしごと

路面清掃は、私たちの生活に欠かすことのできない道路を、きれいにする大切な仕事です。

清掃作業は、4台の車両がチームになった場合では6～8名の人数で、1日を通して行われます。道路によっては早朝・夜間など比較的交通量の少ない時間帯にも行う必要があり、道路ごとに回り方が決められています。

また車両での清掃作業だけでなく、路面清掃車で直接処理できないゴミの掻き出しや歩道の清掃、大きいゴミの拾い上げなどは人力で作業が行われていて、快適な交通環境の維持に努めています。

はたらく車大解剖！

路面清掃車ってこんな車

運転席



路肩の縁石を確認しながら車両を走らせていくため、運転席には左右両側にハンドルが付けられています。



ホッパー

集めたゴミをためておくタンク。たまったゴミはダンプトラックに移し替えます。

リヤタイヤ(後輪)

ダブルタイヤ(2つで1組のタイヤ)になっており、方向転換をリヤタイヤで行うことで、小回りが利くため車道の端にたまったゴミの近くまで車体を寄せることができます。



メインブラシ

車体の真ん中にあり、サイドブラシで掻き出したゴミを集めます。集めたゴミはホッパーにたまっていきます。



サイドブラシ

車体の両側にあります。車道の端に散らばるゴミを掻き出して、メインブラシの方向に集めます。



お話きいてみました！

道路清掃は、複数のステップを効率的に進められ、それぞれの作業はとても専門的です。特に清掃の中心的な役割を果たす路面清掃車は車両を縁石ギリギリまで寄せて清掃を行うため、操縦には熟練した技術が必要です。



日本ロード・メンテナンス株式会社
井上さん

道路をきれいにする車の仲間たち

ゴミの種類や天候（災害等）により、あらゆる状況が考えられる道路を維持・管理していくためには、通常の清掃以外の仕事をこなす特殊な車両も用意されています。



散水車

通常の道路清掃でも活躍しますが、災害時には路面に固着した土砂を水で洗い流したり、断水時の給水支援などを行うことができる優れた車両です。



高圧洗浄車（排水管清掃車）

高圧ホースの先端ノズルから高圧水を噴射することができ、詰まった排水管や堆積（たいせき）した側溝の土砂を洗い流します。



汚泥（おでい）吸引車（側溝清掃車）

道路排水施設の清掃を専門に行う車両です。真空ポンプの強力な吸引力により、堆積した汚泥を吸い込み集積・運搬できます。



トンネル清掃車

トンネルの壁面を清掃するための専用車両。回転ブラシが上下前後左右に動くため、さまざまな構造のトンネルに対応しています。

《ちばではたらく車たち》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「ちばではたらく車たち」の第5回をご覧ください。

今回誌面でご紹介した、道路清掃の中心となる仕事を担う、路面清掃車のホッパーにゴミがいっぱいになると、どこにゴミを移し替えるでしょうか。
次の3つの中から正解を1つ選んでください。

① ゴミ収集車
② 散水車
③ ダンプトラック

取材協力・撮影協力・写真提供／日本ロード・メンテナンス株式会社

プラスαで、未来をともに。
京葉銀行
ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行　情報誌　検索
LINE、Xからも「もっと知りたい！千葉のおもしろ博物館」を配信しています。
LINE 公式アカウント @keiyobk_official
X 公式アカウント @keiyobkofficial

2026.11
（次回発行予定／2026年12月18日）

正解は→③　ダンプトラック